

令和8年度からの まちづくり支援交付金の実施は

答
令和7年度の
事業期間までに研究する



水落 龍彦 議員

水落 活動に対する評価、支援、アドバイスは実施しているか。

町長 地域と町とのかけはしの役割を担うはずの地区担当職員の活用がされていない状況が生じている。

水落 研修され行政区への支援をお願いする。

町長 地区担当職員制度の目的、役割を再度認識させる研修、既存制度の運用改善に努める。

水落 ・住民相互のつながりの希薄化

・住民間の相互扶助機能の低下

・行政区での担い手不足



フリーマーケットの様子
「町民提案型協働まちづくり」

・高齢化問題
これらの地域課題が山積している。
地域の活性化を図り課題解決の手立てになるためにも、まちづくり支援交付金の実施を8年度もお願いしたい。

町長 各地域の役員さ

んと意見交換を引き続き進めながら、これまでの検証を行い協議を進めていく。

まちづくりの 道路事業について

答
県道三瀬上陽線の209号までのバイパス事業計画が決定した



野田 成幸 議員

野田 牟礼地区の歩道整備事業が実施中であり、令和7年2月末現在で、用地買収の約9割が完了している。知

徳交差点の改良事業についても、昨年度から新規事業採択がなされ、本年度は地形測量が実施されている。加えて、歩道が未整備の

県道三瀬上陽線の下広川校区一條の未改良区間においては、児童生徒が通学に利用し、常に危険にさらされている。今後、早急に整備に着手するよう要望する。

町長 順次、県道三瀬上陽線歩道整備事業を

県に要望している。

その他

下広川地区の今後の交通の安全、沿道環境の改善、地域活性化を考えると、一條藤田線から上津バイパスへ通じる道路を検討するよう求めた。町長からは、

期成会というやり方もあるのと考えていくとの答弁であった。



安心安全につながる道路事業を